

2018年3月26日

一般社団法人日本化学工業協会

日本毒性学会 第4回 日化協 LRI 賞 研究受賞者決定

一般社団法人日本化学工業協会(住所:東京都中央区、会長:石飛 修(住友化学(株)会長)、以下「日化協」)は、研究者奨励(育成)の一環として、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する優れた業績をあげた研究者を表彰するため、一般社団法人 日本毒性学会(理事長 永沼 章)内に設立した日化協 LRI^{※1} 賞の第4回目の受賞者を決定いたしました。

授賞式は、2018年7月18日～20日に大阪国際会議場(グランキューブ大阪)で開催される第45回日本毒性学会学術年会において執り行われます。

※1 Long-range Research Initiative = 長期自主研究活動



[受賞者]

中西 剛 (なかにし つよし)

岐阜薬科大学 衛生学研究室 准教授

[テーマ]

核内受容体作動性ハザードによる生殖発生毒性および評価系構築に関する総合研究

[授賞理由]

化学物質の安全性評価において、人への影響及び詳細な作用機構を把握することは非常に重要です。受賞者は、化学物質の有害性の作用点として、発生、恒常性や代謝など生命維持の根幹に係る遺伝子転写に関与している細胞核内の受容体(核内受容体)に着目して、有機スズや代替ビスフェノールAの生殖発生毒性について優れた研究成果を挙げています。さらに、近年では、エストロゲン様化学物質における低用量影響問題の解決をはかるため、新しい視点で正確に有害性評価できる *in vivo* 試験系の構築に取り組んでいます。

以上のように、化学物質のリスク評価における難問に果敢に挑戦する姿勢が高く評価されました。

LRIは、国際化学工業協会協議会(ICCA)に加盟している欧州化学工業連盟、米国化学工業協会および日化協の3つの団体によって1999年より運営されているグローバルプログラムであり、化学物質の安全性を向上させ、不確実性を低減させることを目的に、“化学物質が人の健康や環境に与える影響”に関する研究を長期的に支援している自主活動です。日化協では2000年よりLRIを通じた研究支援を行っています。「日化協 LRI賞」は、LRIの認知拡大および理解促進を図るとともに、同分野の優れた若手の研究者および世界をリードするような新しい研究分野を発掘することを目指して2015年より設立いたしました。

以上

《本件に関するお問い合わせ先》

一般の方から：(一社)日本化学工業協会 LRI事務局 田所

TEL:03-3297-2575

報道関係者から：(一社)日本化学工業協会 広報部 永井

TEL:03-3297-2555